

第136回 (令和6年2月) 情報処理技能検定試験(表計算) 4級問題

<問題>

- 下記の<入力データ>を基に、<処理条件>に従って表を完成し、印刷しなさい。
表題は表の中央、見出しは中央揃え、文字は左揃え、数字は右揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
- 試験時間は20分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<入力データ>

社員名	時給	実働時間	乗率
大川 和美	1,240	125	4%
木山 正夫	1,070	150	6%
西 さゆり	1,160	148	5%
多田 勇氣	1,280	130	4%
真木 カナ	1,320	149	5%
長谷川 優	1,140	135	4%
野中 愛子	1,050	154	6%

<処理条件>

- <出力形式>のような賃金一覧表を作成しなさい。(――の部分は空白とする)
※乗率は<入力データ>のとおり%表示とする。
- 基本賃金=時給×実働時間
勤勉手当=基本賃金×乗率
支給総額=基本賃金+勤勉手当
- 合計・平均(整数未満四捨五入の表示)を求めなさい。
- 罫線の太線と細線を区別する。(外枠は太線とする)

<出力形式>

賃金一覧表

社員名	時給	実働時間	基本賃金	乗率	勤勉手当	支給総額
合計	――			――		
平均	――			――		

第136回 (令和6年2月) 情報処理技能検定試験(表計算) 3級問題

<問題>

- 下記の<入力データ>を基に、<処理条件>に従って表を完成し、印刷しなさい。
表題は表の中央、見出しは中央揃え、文字は左揃え、数字は右揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
- 試験時間は30分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<入力データ>

コード	商品名	前月売上数	単価
101	A商品	195	2,160
102	B商品	263	1,720
103	C商品	137	2,530
104	D商品	248	1,960
105	E商品	324	1,190
106	F商品	168	2,380
107	G商品	281	1,540
108	H商品	309	1,360

<判定表>

定価	判定
2,510以上	**
それ以外	*

<処理条件>

- <出力形式1>のような商品別仕入一覧表を作成しなさい。(――の部分には空白とする)
- 仕入数=前月売上数×1.06 (整数未満切り上げ)
仕入額=単価×仕入数
手数料=仕入額×5%
定価=(仕入額+手数料)÷仕入数×1.22 (整数未満切り捨て)
- 判定は<判定表>を参照し、求めなさい。
- 合計を求めなさい。
- 仕入額の少ない順に並べ替えなさい。
- <出力形式2>のような処理をしなさい。(平均は整数未満四捨五入の表示とする)
- 罫線の太線と細線を区別する。(外枠は太線とする)

<出力形式1>

商品別仕入一覧表

コード	商品名	前月売上数	仕入数	単価	仕入額	手数料	定価	判定
――	――	――	――	――	――	――	――	――

(途中省略)

――	合計	――	――	――	――	――	――	――
----	----	----	----	----	----	----	----	----

<出力形式2>

仕入数の平均	――
手数料の平均	――
定価の最大	――

第136回 (令和6年2月) 情報処理技能検定試験(表計算) 準2級問題

<問題>

- 下記の<入力データ>を基に、<処理条件>に従って表およびグラフを完成し、印刷しなさい。
表題は表の中央、見出しは中央揃え、文字は左揃え、数字は右揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
- 使用したテーブルを印刷しなさい。(表の形式は問わない)
- 試験時間は30分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<入力データ>

得CO	得意先名	商CO	売上数
101	山口総業	13	260
102	スーパー栄	14	295
103	岸田商事	12	236
104	明星ストア	14	239
105	アキヤマ	13	195
106	小野寺商店	11	210
107	新鮮市場	14	187
108	WE C物産	11	240
109	大川商会	12	267

<商品テーブル>

商CO	商品名	原価
11	A商品	2,105
12	B商品	1,340
13	C商品	1,864
14	D商品	1,514

<値引率表>

売上数	値引率
240 以上	⇒ 7.3%
210 以上 240 未満	⇒ 6.7%
210 未満	⇒ 6.1%

<処理条件>

- <出力形式1>のような売上額一覧表を作成しなさい。(――の部分には空白とする)
- 商品名・原価は<商品テーブル>を表検索しなさい。
- 定価=原価×1.29 (整数未満切り捨て)
- 値引率は<値引率表>を参照し、求めなさい。(％の小数第1位までの表示とする)
売価=定価×(1-値引率) (整数未満切り上げ)
売上額=売価×売上数
- 売上数が260未満で売上額が400,000以上に“**”、それ以外に“*”の判定をしなさい。
- 合計を求めなさい。
- 売上額の少ない順に並べ替えなさい。
- 売上額一覧表の商品名のセル証明をしなさい。
- <出力形式2>のような処理をしなさい。売価・売上額は¥表示とする。(平均は整数未満四捨五入の表示とする)
- 罫線の太線と細線を区別する。(外枠は太線とする)
- 売上額一覧表の売上額の値を得意先名別の横棒グラフにしなさい。
タイトルは“得意先別の売上額”とし、凡例は“売上額”とする。

<出力形式1>

売上額一覧表

得CO	得意先名	商CO	商品名	原価	定価	売上数	値引率	売価	売上額	判定
(途中省略)										
――	合 計	――	――	――	――	――	――	――	――	――

<出力形式2>

	売上数	売価	売上額
平均			
最大			
最小			

第136回 (令和6年2月) 情報処理技能検定試験(表計算) 2級問題

<問題>

- 下記の<入力データ>を基に、<処理条件>に従って表およびグラフを完成し、印刷しなさい。
表題は表の中央、見出しは中央揃え、文字は左揃え、数字は右揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
- 使用したテーブルを印刷しなさい。(表の形式は問わない)
- 試験時間は30分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<入力データ>

CO	社員名	販売数	販売額	基本給
101	大川 英樹	225	4,879,000	213,000
102	鈴木 愛奈	186	5,012,000	243,000
103	大久保 誠	217	4,612,000	227,000
104	南 ひとみ	189	4,527,000	238,000
105	中村 正孝	174	4,213,000	251,000
106	近藤 和子	245	4,517,000	264,000
107	田中 勇氣	148	3,756,000	224,000
108	井上 マリ	263	5,192,000	257,000

<標準テーブル>

標準販売数	206
標準販売額	4,607,000

<特別手当の計算式>

査定B	特別手当
100以上	250×査定B
それ以外	210×査定B

<評価表>

評価の条件	評価
査定Aと査定Bの両方とも105以上の場合	A
査定Aと査定Bのいずれかが105以上の場合	B
それ以外	C

※基本給のデータは<出力形式2>で使用する。

<処理条件>

- <出力形式1>のような販売データ一覧表を作成しなさい。(――の部分は空白とする)
- 査定A = 販売数 ÷ 標準販売数 × 100 (整数未満切り捨て)
※標準販売数は<標準テーブル>を絶対参照し、求めなさい。
査定B = 販売額 ÷ 標準販売額 × 100 (整数未満切り捨て)
※標準販売額は<標準テーブル>を絶対参照し、求めなさい。
- 合計を求めなさい。
- <出力形式2>のような社員別給料一覧表を作成しなさい。(――の部分は空白とする)
- 査定A・査定Bは、販売データ一覧表を表検索しなさい。
- 販売手当 = 基本給 × 13% × (査定A + 査定B) ÷ 200 (整数未満切り上げ)
- 特別手当は<特別手当の計算式>を参照し、求めなさい。
支給総額 = 基本給 + 販売手当 + 特別手当
- 評価は<評価表>を参照し、求めなさい。
- 合計を求めなさい。
- 支給総額の多い順に並べ替えなさい。
- 罫線の太線と細線を区別する。(外枠は太線とする)
- 社員別給料一覧表の査定Aと評価のセル証明をしなさい。
- 社員別給料一覧表の販売手当と特別手当の値を社員名別の積み上げ横棒グラフにしなさい。
タイトルは“社員別の比較”とし、凡例は“販売手当”、“特別手当”とする。

<出力形式1>

販売データ一覧表

CO	社員名	販売数	販売額	査定A	査定B
――	合計			――	――

(途中省略)

<出力形式2>

社員別給料一覧表

CO	社員名	基本給	査定A	査定B	販売手当	特別手当	支給総額	評価
――	合計		――	――				――

(途中省略)

第136回(令和6年2月)情報処理技能検定試験(表計算)準1級問題

<問題>

- 下記の<入力データ>を基に、<処理条件>に従って表およびグラフを完成し、印刷しなさい。
表題は表の中央、見出しは中央揃え、文字は左揃え、数字は右揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
- 使用したテーブルを印刷しなさい。(表の形式は問わない)
- データ保存またはすべての表の数式印刷をしなさい。
- 試験時間は30分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<入力データ>

CO	社員名	出発日	帰着日	販売額
101	小石川 桜	1/4	1/14	1,784,000
102	川西 和男	1/6	1/13	1,476,000
103	加藤 正子	1/7	1/11	1,385,000
104	久保田 誠	1/9	1/17	1,818,000
105	星 ひかり	1/10	1/16	1,552,000
106	山田 大地	1/12	1/21	1,659,000
107	中村 美香	1/13	1/18	1,316,000
108	平本 英樹	1/15	1/26	1,135,000

<販売目標額テーブル>

販売目標額	1,600,000
-------	-----------

<手当単価テーブル>

出張手当単価	3,560
販売手当単価	290

<評価表>

販売手当	支給額	評価
25,000以上 かつ 70,000以上		***
25,000以上 かつ 50,000以上 70,000未満		**
それ以外		*

※出発日・帰着日はすべて今年とする。

<処理条件>

- <出力形式1>のような出張販売データ表を作成しなさい。(——の部分空白とする)
※出発日・帰着日は、月日の表示であれば形式は問わない。
- 出張日数=帰着日-出発日+1
販売指数=販売額÷販売目標額×100(整数未満切り上げ) ※販売目標額は<販売目標額テーブル>を絶対参照する。
- 合計を求めなさい。
- <出力形式2>のような社員別支給額一覧表を作成しなさい。(——の部分空白とする)
- 社員名・出張日数は出張販売データ表を参照しなさい。
- 出張手当=出張手当単価×出張日数 ※出張手当単価は<手当単価テーブル>を絶対参照する。
販売手当=販売手当単価×販売指数 ※販売手当単価は<手当単価テーブル>を絶対参照し、販売指数は出張販売データ表を参照する。
特別手当=(出張手当+販売手当)×13%(10位未満切り捨て)
支給額=出張手当+販売手当+特別手当
- 評価は<評価表>を参照し、求めなさい。
- 合計を求めなさい。
- 支給額の多い順に並べ替えなさい。
- 社員別支給額一覧表を基に<出力形式3>のような処理をしなさい。(平均は整数未満四捨五入の表示とする)
- 罫線の太線と細線を区別する。(外枠は太線とする)
- <出力形式2>の出張手当・販売手当を社員名別の積み上げ縦棒グラフにしなさい。
タイトルは“社員別の比較”とし、凡例は“出張手当”、“販売手当”とする。

<出力形式1>

出張販売データ表

CO	社員名	出発日	帰着日	出張日数	販売額	販売指数
(途中省略)						
——	合計	——	——			——

<出力形式2>

社員別支給額一覧表

CO	社員名	出張日数	出張手当	販売手当	特別手当	支給額	評価
(途中省略)							
——	合計						——

<出力形式3>

販売手当が28,000円以上の支給額の合計	
出張日数が8日未満の特別手当の平均	

第136回 (令和6年2月) 情報処理技能検定試験(表計算) 1級問題

<問題>

1. 下記の<入力データ>を基に、<処理条件>に従って表およびグラフを完成し、印刷しなさい。
表題は表の中央、見出しは中央揃え、文字は左揃え、数字は右揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
2. 使用したテーブルを印刷しなさい。(表の形式は問わない)
3. データ保存またはすべての表の数式印刷をしなさい。
4. 試験時間は30分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<入力データ>

販CO	商CO	販売数
101	11	351
101	12	610
101	21	540
101	22	427
102	11	670
102	12	553
102	21	615
102	22	392
103	11	628
103	12	480
103	21	654
103	22	620
104	11	520
104	12	630
104	21	432
104	22	749

<販売先テーブル>

販CO	販売先名
101	中村商店
102	西田物産
103	さかえや
104	関東食品

<商品テーブル>

商CO	商品	原価(\$)
11	A	13.95
12	B	14.82
21	C	11.43
22	D	12.51

<為替レートテーブル>

為替レート	130.75
-------	--------

<値引率表>

販売数	商CO	
	10番台	20番台
1以上 520未満	8.1%	7.2%
520以上 620未満	8.4%	7.5%
620以上	8.7%	7.8%

<手数料の計算式>

販売数	手数料
610以上	販売額×4.7%
それ以外	販売額×5.8%

※手数料は10位未満切り上げ。

<評価表>

販売数	請求額	評価
540以上 かつ 140万以上		優
540以上 かつ 110万以上 140万未満		良
それ以外		可

<処理条件>

1. <出力形式1>のような輸入品販売一覧表を作成しなさい。(――の部分空白とする)
2. 販売先名は<販売先テーブル>を表検索しなさい。
3. 商品名は<商品テーブル>の商品を表検索し、“商品”の文字を関数または演算子を使用して結合しなさい。
(例 A商品)
4. 定価=原価(\$)×為替レート×1.3(10位未満四捨五入) ※原価(\$)は<商品テーブル>を参照し、為替レートは<為替レートテーブル>を絶対参照する。
5. 値引率は<値引率表>を参照し、求めなさい。(％の小数第1位までの表示とする)
売価=定価×(1-値引率) (整数未満切り上げ)
販売額=売価×販売数
6. 手数料は<手数料の計算式>を参照し、求めなさい。
請求額=販売額+手数料
7. 評価は<評価表>を参照し、求めなさい。
8. 合計を求めなさい。
9. <出力形式1>と同じ形式で、販売先名が西田物産以外で手数料が55,000以下を抽出しなさい。
表題は“輸入品販売一覧表(西田物産以外・手数料55,000円以下)”とし、販売数の降順にソートしなさい。
10. 輸入品販売一覧表を基に<出力形式2>のような処理をしなさい。
11. 輸入品販売一覧表を基に<出力形式3>のような処理をしなさい。
12. 罫線の太線と細線を区別する。(外枠は太線とする)
13. <出力形式2>の販売額を販売先名別の円グラフにしなさい。
タイトルは“販売額の構成比”、凡例は販売先名とし、％の小数第1位までの表示とする。

<出力形式1>

輸 入 品 販 売 一 覧 表

販CO	販売先名	商CO	商品名	販売数	定価	値引率	売価	販売額	手数料	請求額	評価
(途 中 省 略)											
	合 計										

<出力形式2>

販売先別集計表

販売先名	販売数	販売額	手数料
中村商店			
西田物産			
さかえや			
関東食品			

<出力形式3>

定価が2,100円以上で販売額が100万円以上の手数料の最小	
B商品以外で手数料が60,000円以上の請求額の合計	
売価が2,300円未満で請求額が120万円以下の件数	

第136回（令和6年2月）
情報処理技能検定試験（表計算）
初段 問題

試験時間	30分
------	-----

1. <入力データ>を基に、<処理条件>に従って表およびグラフを完成しなさい。
2. 表題は表の中央、見出しは中央揃え、文字は左揃え、数字は右揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
3. <出力形式>に「合計」「平均」などがある場合は、関数により処理を行うこと。ただし「——」部分は空白とする。
4. 表には罫線を引くこと。（罫線の太線と細線は区別する。外枠は太線とする。）
5. 使用したテーブルの表の形式は問わない。
6. [] 内文字はシート名とする。テーブルや作成する表にシート名があるものは、それぞれこのシート名でシートを作成し、処理を行うこと。
(例 <出力形式1> [前期]・[中期]・[後期] →前期、中期、後期の各シートを作成し、それぞれ指示された表を作成する。)
7. 作成したデータは事前に準備したファイル（初段・受験番号・名前）に上書き保存する。
(例：初段101日検太郎)

問 題

<入力データ> (各36件) ※テキストデータはSPS フォルダー内のデータを使用する。

【仕入データ表】

商CO	仕入数	原価
101	72	1,458
102	86	2,089
103	85	1,856
104	143	1,835
105	123	1,416
:	:	:
102	132	1,838
103	133	1,948
104	76	1,487
105	154	1,793
106	98	2,274

【販売データ表】

販CO	商CO	販売数
11T	101	141
11T	102	93
11T	103	101
11T	105	144
11T	104	121
:	:	:
14S	106	138
14S	101	140
14S	102	96
14S	105	93
14S	103	128

<商品テーブル> **【テーブル】**

商CO	商品	定価	期首在庫数
101	A	2,370	53
102	B	2,210	60
103	C	3,060	37
104	D	2,590	66
105	E	2,860	56
106	F	3,140	42

<値引率テーブル> **【テーブル】**

区分	値引率
S	8.9%
T	7.8%
U	6.7%

※区分は販COの右から1文字目。

<販売先テーブル> **【テーブル】**

販CO	販売先名	前月販売額
11T	明光電気	2,513,605
12S	ひかり堂	2,349,216
13U	JPNK	2,502,967
14S	星カメラ	2,794,250

<処理条件>

- <入力データ> (テキストデータ、日本語シフトJIS、CSV形式) を使用し、<出力形式1>のような表を作成。

<出力形式1> **【仕入データ表】**

商CO	仕入数	原価	手数料	仕入額
(途中省略)				
合計				

- 1) 手数料は<手数料の計算式>を参照し求める。

<手数料の計算式>

仕入数	原価	手数料
140以上	または 2,300以上	原価×仕入数×4.7%
それ以外		原価×仕入数×5.8%

※手数料は10位未満切り上げ。

- 2) 仕入額=原価×仕入数+手数料

- <入力データ> (テキストデータ、日本語シフトJIS、CSV形式)、<商品テーブル>、<値引率テーブル>を使用し、<出力形式2>のような表を作成。

<出力形式2> **【販売データ表】**

販CO	商CO	販売数	売価	販売額
(途中省略)				
合計				

- 1) 売価=定価×(1-値引率) (整数未満切り捨て)
- 2) 販売額=売価×販売数

3. <出力形式1>、<出力形式2>、<商品テーブル>を基に、<出力形式3>のような表を作成。

<出力形式3> [計算表]

商品別計算表						
商C O	商品名	仕入数	販売数	期末在庫数	利益額	判定
(途中省略)						
—	合計					—

- 1) 商品名は、“商品”の文字と<商品テーブル>の商品を関数または演算子を使用して結合。(例 商品A)
- 2) 仕入数・販売数は、基表の同項目の値を集計。
- 3) 期末在庫数=期首在庫数+仕入数-販売数
- 4) 利益額=販売額-仕入額 ※各項目は基表の同項目の値を集計。
- 5) 販売数が700以上かつ利益額が利益額の平均以上に“*”の判定をする。

4. <出力形式2>、<販売先テーブル>を基に、<出力形式4>のような表を作成。

<出力形式4> [計算表]

販売先別計算表							
販C O	販売先名	販売数	販売額	諸経費	請求額	奨励金	前月比
(途中省略)							
—	合計						—

- 1) 販売先名は<販売先テーブル>を表検索。
- 2) 販売数・販売額は、基表の同項目の値を集計。
- 3) 諸経費は、販売数が1,100未満かつ販売額が300万未満の場合、販売額×1.3%、それ以外は、販売額×1.8%。
(10位未満切り捨て)
- 4) 請求額=販売額+諸経費
- 5) 奨励金=150,000× $\frac{\text{請求額}}{\text{請求額の合計}}$ (10位未満四捨五入)
- 6) 前月比= $\frac{\text{販売額}}{\text{前月販売額}}$ (%の小数第1位未満切り上げ)
- 7) 請求額の昇順に並べ替え。

5. <出力形式4>を基にグラフを[計算表]シートに作成。

- 1) グラフの種類は、販売先名別の販売数を折れ線、請求額を縦棒にした複合グラフ。
- 2) グラフタイトル、凡例は以下のとおりにする。

